

公益財団法人広島平和文化センター 国際交流・協力課

平成31年度事業計画書

1 国際交流・協力推進事業

(1) 国際交流・協力事業への助成（予算額：85万4千円）

市民レベルの国際交流・協力の推進を図るため、広島市内で活動している国際交流・協力活動団体が、自主的に企画・実施する国外又は市内での国際交流・協力事業に対して助成を行う。

(2) 国際交流ネットワークひろしまの運営（予算額：153万9千円）

広島市内の国際交流・協力活動団体等で構成する国際交流ネットワークひろしまを運営し、加入団体が活動しやすい環境づくりに努める。また、国際交流・協力課のホームページを活用し、国際交流ネットワークひろしま加入団体の活動情報等を発信する。

- ・内 容：加入団体への情報提供等、研修室・ボランティア活動コーナーの運営、ホームステイ等のあっせん
- ・加入団体数：145団体（平成31年3月1日現在）
- ・平成30年度ホームページ閲覧状況（2月末現在）：69,566件

(3) 国際フェスタの開催（予算額：461万6千円）

広島市内の国際交流・協力活動団体間の交流を推進するとともに、市民の関心を高めるため、文化体験コーナーや、セミナー、展示、バザー等を開催する。また、第20回を記念した、国際舞踊・音楽のステージイベントを開催する。

- ・時 期：平成31年11月17日(日)（予定）
- ・場 所：広島国際会議場、平和大通り緑地帯、平和記念公園
- ・延べ参加人数：約9,000人

(4) 「姉妹・友好都市の日」の開催及び「ヒロシマ・メッセンジャー」の運営（予算額：521万円）

広島市が海外の6つの姉妹・友好都市ごとに創設した「姉妹・友好都市の日」に、市民参加型の記念イベントを開催し、市民交流の一層の拡大と国際意識の高揚を図る。

また、「姉妹・友好都市の日」記念イベントの企画・立案及び進行や、国際理解学習の講師として学校等に派遣する「ヒロシマ・メッセンジャー」を募集する。

a 「姉妹・友好都市の日」（6都市）の開催

- ・時 期：原則として各都市の日又はこれに近い日
- ・場 所：広島市留学生会館等
- ・内 容：各都市の文化・歴史・音楽等の紹介
- ・延べ参加人数：約10,000人

b 「ヒロシマ・メッセンジャー」の運営

ヒロシマ・メッセンジャーの募集

- ・募集時期：平成31年10月
- ・募集人数：姉妹・友好都市ごとに2人、計12人
- ・任 期：平成32年1月～12月

2 国際化推進事業

(1) 国際交流員による国際交流事業の実施（予算額：3万7千円）

地域レベルでの国際交流・国際理解を促進するため、学校等広島市関係機関が実施する国際交流・国際理解事業に国際交流員を派遣するとともに、国際交流員が市民からの質問や相談に応じる国際交流員の相談日を国際交流ラウンジにおいて実施する。

- ・派遣回数：約30回
- ・相談日(Have a Natter! 世界を知ろう!): 12日程度

(2) 情報誌の発行（予算額：9万8千円）

外国人のための生活・文化情報誌「HIRO CLUB NEWS」を作成・配布し、広島での生活に役立ててもらおう。また、これらの情報をインターネットでも提供する。

a 発行回数、部数

(a) 英語版

月2回発行、1回当たり約100部

(b) 中国語、ポルトガル語、スペイン語版

月1回発行、1回当たり各言語約50部

b 配布先

県内国際交流団体、日本語教室、広島市関係機関等

(3) 国際交流・協力団体との連携（予算額：41万2千円）

広島地域の国際交流・協力事業の連携・調整を図るため、公益財団法人ひろしま国際センター等関係機関との連絡会議に参加するとともに、二国間団体の運営の助言や地域国際化協会の研修会等に参加する。

(4) 通訳ボランティアの研修・派遣事業（予算額：39万2千円）

日本語での会話が困難な外国人市民の生活を支援するため、ボランティアを登録し、通訳者として必要な研修を行うとともに、要請に応じて区役所や学校、国際的会合などに派遣する。

・ボランティア登録者数：574人（平成31年3月1日現在）

(5) 外国人市民の総合相談窓口事業（予算額：1,316万8千円）

日本語に不慣れな外国人市民のために、多言語で対応できる相談窓口を開設し、窓口や電話での生活支援相談、生活関連情報の提供・翻訳、行政機関等への同行及び電話による通訳などを行う。

また、事業の継続性、専門性の確保のため、相談員を財団非常勤職員とするとともに、ポルトガル語とスペイン語の相談日を、週3日から5日に増やす。

・対応言語：中国語、スペイン語、ポルトガル語

・開設場所：広島国際会議場1階国際交流ラウンジ内

(6) 外国人市民の日本語能力向上支援事業（予算額：25万9千円）

外国人市民の日本語学習支援を行う地域日本語教室は、ボランティアの担い手不足や指導力向上の課題を抱えている。このため、ボランティア養成及びスキルアップ研修を行うことで地域日本語教室を活性化し、これにより外国人市民の日本語能力向上を図る。

・内容：地域日本語教室ボランティアの養成及びスキルアップのための講座を実施する。

・地域日本語教室の数：19団体（平成31年3月1日現在）

3 ひろしま奨学金支給事業（予算額：1,176万3千円）

広島市内に居住し、市内の大学・大学院に在籍する私費留学生に対し経済的な問題に影響されることなく、安心して学業に専念できるよう奨学金を支給する。

また、奨学生を対象とした平和学習を実施し、被爆の実相や核兵器廃絶に向けた取組を学ぶとともに、ヒロシマを発信する活動を積極的に行ってもらうことで、「平和」を通じた国際交流の推進を図る。

(1) ひろしま奨学金の支給

- ・支給人数：30人
- ・支給金額：30,000円／月×12か月

(2) 奨学生を対象とした平和学習

- ・時期：平成31年12月から平成32年1月の間の1日（土曜日）
- ・内容：平和学習講座、広島平和記念資料館の見学、被爆体験講話、学習の振り返り

4 その他

広島国際会議場国際交流ラウンジの管理運営を行う。

・国際交流ラウンジ

◇場所：広島国際会議場1階

◇開館時間：午前9時から午後7時（4月1日～9月30日）

午前9時から午後6時（10月1日～3月31日）

◇休館日：12月29日～1月3日

◇コーナー：情報カウンター、ボランティア情報コーナー、ミーティングコーナー、新聞・雑誌コーナー、リーフレットコーナー、掲示板コーナー、JICAコーナー、インターネットコーナー、図書コーナー